

令和3年第1回市議会臨時会

市長提案理由

(令和3年5月28日提案)

令和3年第1回市議会臨時会の緊急な招集に対し、御出席賜り誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ち、別府市議会議員として10期35年余りにわたり、地方自治の振興と市政の発展に御尽力をいただきました河野数則、議員の御冥福を心から御祈り申し上げます。

県内では、感染力が強く重症化リスクも高い変異ウイルスの急増により、感染症が急速に拡大し、現在、県内全域に不要不急の外出自粛や飲食店における営業時間の短縮などの対策が講じられています。本市におきましては、4月の下旬頃から感染者が増え始め、ゴールデンウィーク後の感染拡大を防止するため、観光関連事業所に従事する方々に対し、PCR検査を実施しました。また、現在、感染症を封じ込めるために、行事・イベント等の中止又は延期、公共施設等の利用制限を行うなど、本市独自の「一段強めの感染予防対策」を実施中ではありますが、感染経路不明者の割合が高まっており、いつ、どこで感染してもおかしくない状況です。こうした状況から、市民の皆様は不安を抱えながら生活されていることと察します。

また、感染症の長期化と拡大に伴い、外出自粛や営業時間の短縮により事業者の経営環境は厳しい状況に置かれています。この状況が続くことで、今後、倒産や事業継続をあきらめざるを得ない事業者が増えることが危惧されます。

特に観光関連事業者は、これからの3か月間が正念場です。そして、ワクチン接種が進む年末までが重大な山場となり、この大変な時期を乗り切っていただくために行政として全力で支えていく覚悟です。しばらくは、今の状況が続くことが予想されますが、引き続き、根気強く感染症対策に取り組み、雇用、事業、市民の健康と生活を守りぬいてまいります。

それでは、ただいま上程されました「議第40号 令和3年度別府市一般会計補正予算（第2号）」の概要について御説明いたします。

今回補正する額は、9億3,700万円の増額で、補正後の予算額は533億9,220万円となります。

民生費では、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、低所得の子育て世帯の生活を支援するため、全額国庫負担により、「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給する経費を計上しています。

衛生費では、感染経路不明者の割合が高まっている中、感染者を早期に発見することにより感染拡大を防止するとともに、市民に安心して日常生活を送っていただけるよう、旧山の手中学校跡地に「別府市PCR検査センター」を開設する経費を計上しています。

商工費では、感染症の影響により売上が減少している中小企業者等の事業活動を支援するため、中小企業者等家賃応援金を支給する経費を計上しています。また、大分県新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金の取扱期限が延長されたことに伴い、当該融資を受けた中小企業者等に対する利子補給金を追加しています。

観光費では、中小企業者等と同様に売上が減少している宿泊事業者等の事業活動を支援するため、特に固定経費として負担が大きい水道料金を軽減するための繰出金を計上しています。

また、民生費、商工費、観光費及び教育費では、感染者を早期に発見するため、体調に不安がある方が必要に応じて抗原検査を実施することができるよう、福祉施設、学校施設、観光関連事業所等に抗原検査キットを配布する経費を計上しています。

以上で、提出いたしました議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくごお願い申し上げます。